



て ま り



Technical Educational Mental Artistic & Refreshing Information

『てまり100号を記念して』

放送大学和歌山学習センター
所 長 宗 森 純

放送大学和歌山学習センターは、1998年（平成10年）に発足してから和歌山県教育委員会や母体校としての和歌山大学、和歌山地域の高等教育を担う高等教育機関コンソーシアム和歌山の構成大学のご支援を得て発展してきました。現在は460名の学生が所属しています。これまでに810名の卒業者と修了者がいらっしゃいます。

和歌山学習センターは、和歌山市西高松の和歌山大学松下会館内にあり、教職員7名、客員教員7名で構成されています。松下会館は昨年内部がリニューアルされました。

本学習センターで行われる面接授業は、センター外に出る授業が多いのが特徴です。これまで、高野山、白浜の近畿大学水産研究所や南方熊楠記念館などでも授業を実施してきました。また、最近では、大阪市の綿業会館（重要文化財）や和歌山学習センターのある松下会館自体も授業の対象とした「和歌山（関西）の歴史的建築」や和歌山電鐵を訪問する「持続可能な鉄道を考える」などの授業も開設しました。学生の公認サークルは俳句会があり、興味のあることを発表する自主ゼミなども活発に行われています。

放送大学和歌山学習センターだより「てまり」は和歌山学習センターが発行する機関誌で、1年に4回（1月、4月、7月、10月）発行され、和歌山学習センター開設25年目にあたり、今回で100号を迎えました。「てまり」の名前は「紀州てまり」に由来しています。「てまり」は、客員教員によるエッセーのほか、和歌山学習センターや放送大学本部からのお知らせなどを伝えています。学習センター自体や面接授業、学習相談に関する重要な情報が記載されておりますので、是非ともご精読ください。現在「てまり」の紙による配布はモノクロ印刷ですが、内容をデジタル化したネット上のPDFはカラー化するなど改善を行っています。

今、放送大学は変革期にあります。以前はBS放送での授業が主流だったのですが、最近インターネットで何時でも何処でも授業を受けられるようになってきました。また、コロナ禍もあり、DX化が進み、単位認定試験が学習センターに来て紙で解答する従来の形式からほとんどの方が自宅でネットで受験する形式に変化しています。ICTを駆使した授業（ライブWeb授業）も増えつつあります。これらにより、センターに学生が来ないで良くなりつつあり、このような環境を好む学生ももちろんいるようですが、センターの観点からは沢山の人が来てワイワイする雰囲気嬉しいところです。学生の興味ある面接授業を増やして、皆さんが来所して最新の学問を楽しく学べるセンターにすることができればと考えており、今年から他の学習センターにはないゲーム関係の授業を開始するのもその一環です。

今後は通信教育であることのメリットを活かしつつ、リアルに大学で共に学ぶ良さの中心となる学習センターを目指したいと考えています。

目

次

- | | |
|--|--|
| P.1 …… 宗森所長「てまり100号を記念して」 | P.2～5 …… 2022-2卒業生・修了生からのメッセージ/新任客員教員のご挨拶/2023年度連携公開講座のご案内 |
| P.6 …… センターの利用について/田辺教室(Big-U)の利用について | P.7 …… Web単位認定試験について |
| P.8 …… 再試験について | P.9 …… 2023-2科目登録・継続入学等のご案内 |
| P.10～11 …… 2023-2面接授業のご案内 | P.12 …… 2023-1客員教員による学習相談のご案内 |
| P.13～14 …… 2023-1客員教員による「学習会」のご案内 | P.15 …… システムWAKABAでできること |
| P.16 …… 「学生証」について/各種変更手続きについて | P.17 …… 諸証明書・学割証の発行について/エキスパートについて |
| P.18 …… 2023年度夏季集中型科目《学校図書館司書教諭》スケジュール/2023-1修士全科目スケジュール | P.19 …… 2024年度「卒業研究履修の手引」配布中！/警報発表時等の臨時閉所について |
| P.20 …… 7月～9月のスケジュール | |



2022年度第2学期学位記授与式が3月26日（日）和歌山学習センターで行われました。和歌山学習センターでは教養学部13名の方が卒業、大学院（修士）2名の方が修了されました。



卒業・修了生からのメッセージ



大学院文化科学研究科修士課程 生活健康科学プログラム 藪内 俊子 さん

私は放送大学卒業後、もう少し視野を広め学習を継続したいと思い大学院進学を決めました。修士課程での論文のテーマは、最初「地域包括における看護師の役割について」とする予定でした。しかし、その時期に配偶者が、がんに罹患していることが判明し、余命も告知されるという今までに味わった事がない出来事に戸惑い、がんという言葉がどれほど日常生活に影響を受けるかを知りました。

看護師として仕事をしていますが、自分がその家族の立場になろうとは夢にも思わず、受け入れるのに時間がかかりました。がん患者家族になってわかったことは、患者を支え続ける事は、家族も精神的、身体的に影響を受け、常に死をイメージしながら生活をする事の辛さを知りました。社会制度など自分が今まで知らなかった制度に関わり、がんという病気は、経済的にも家族に影響する事も知りました。

配偶者の闘病生活の経験から「告知後のがん患者と家族における心境変化」終末期における看護についてをテーマにしました。闘病生活を振り返る事で、挫折しそうになりましたが、夫との約束の「大学院を修了すること」を思い出し、指導教員の山田先生を始めゼミの皆様、家族、友人に支えられ4年かかりましたが無事修了する事ができました。この4年間色々な事を学び、文章化する事で自分自身も前を向く事ができたと思います。

今後は、この経験を臨床に生かせるよう頑張りたいと思います。皆様も色々とおありと思いますが乗切ってください。応援しています。

《放送大学大学院での研究生活について》

大学院文化科学研究科修士課程 自然環境科学プログラム 湯川 正敏 さん

私は20代から数十年間、休日を利用して別子鉱山と同タイプの鉱床について標本採集や地質調査を行ってきました。データも蓄積されてきましたので大学院でこのタイプの鉱床の形成史をまとめようと考え入学することにしました。幸い2年間で自然環境科学プログラムを修了出来たので、これから大学院に入学しようと考えている皆様に何らかの参考になればと思い研究生活の一部をお伝えしたいと思います。

大学院修士課程では研究指導以外に授業科目が22単位必要ですが、入学後は研究に集中したかったので、入学前に研究指導以外の単位を全て科目履修生として修得しておきました。入学後は研究テーマに集中できたのでこの方法をお勧めします。

入学後の研究指導はコロナが蔓延している時期であったため、すべてリモートで行われました。レポート発表会は、Zoomを使用し、1年目の夏と冬、2年目の夏の計3回実施されました。毎回の発表は、発表30分と質疑応答30分の1時間で行われ質疑はそれなりにきびしい内容でしたが、3回のレポートを完成させていけば自ずと修士論文が出来上がっていくことになりとても有益な機会でした。また、ゼミ以外でも研究指導の先生から研究の進め方についてとても丁寧ご指導いただきました。

以上、修士学生としての体験をお伝えしましたが、熱意をもって志望すれば目的が達成できるよう指導していただけますので放送大学大学院を是非お勧めしたいと思います。

教養学部 生活と福祉コース 中川 哲男 さん

放送大学の関わりは亡くなった後輩の年賀状に印刷された当該大学の卒業証書であった。この年賀状に書かれた文言に触発され、人間と文化コースを2年前に卒業し、今年、生活と福祉コースを卒業した。先の人間と文化コースは自分の能力を確認するため、次の生活と福祉コースは人のために何か役立てないかと選んだ。特に生活習慣病、認知症の学習のおかげで在住する岬町の健康づくり委員に応募し採用され、認知症サポーター講習も受け、認知症カフェの応援にも参加するようになった。

今年80歳になるが150世帯の地域の自治会長にも推薦され、里海・里山の自然保護のボランティアにも参加し幼児青少年の育成指導に携わっている。

今までに学んだがん、循環器疾患、精神医学、感染症、認知症などの知識、情報を自己のみならず身近に接する人とも共有し、ともに考え行動して行きたいと考えるようになった。

従って、自治会の今年度の事業計画にも高齢独居者への見守りと気配り、地域行事への参画と交流の推進を付け加え、地域全体で安全と福祉に目を向けるように企画した。

生きている今、無意味・無目的に生きるのではなく、貴重な時間を大事に上手に生かせるために何をやれば？何かをやらなければ？と考える前に行動を起こすことだと思う。時間は無駄にできない。

しかし・・・、真逆ですが「まあ～、ぼちぼちやれば」もまた必要です！

教養学部 生活と福祉コース 藤畠 眞理子 さん

2009年に放送大学に入学しました。私の目的は①放送大学卒業、②JICAシニア海外ボランティアに参加し視野を広げることでした。心理と教育コースを学び、認定心理士資格取得を目指しました。

面接授業の心理学演習は希望者が多く抽選に外れて受講できないときもありました。受講できた時は本当にうれしかったです。演習は受講生が協力しなければ進めません。随分、他の学生さんたちに助けていただき心から感謝しています。そして、先生方の懇切丁寧な講義内容と学生に寄り添って下さる姿に感動しました。お陰様で2015年3月心理と教育を卒業し、認定心理士資格も取得できました。

次にJICAシニア海外ボランティアに合格し、ポリビアに2016年2次隊として派遣される予定でした。派遣前訓練を受けた後、突然、病に倒れ派遣は取り消されました。ショックでした。派遣期間は2年間のため休学の手続きを取っており、その間休養しました。

2年後に復学し、「生活と福祉」コースを学び2023年に卒業できました。目的①は達成できました。②は叶いませんでした。色々ありましたが、16年間（2年休学）放送大学で目的をもって学べたこと、他の受講生の方々と交流できたことは本当に幸せでした。

学ぶことは年齢とともに、しんどい時もあります。でも、学び続けます。今度は、科目履修生として学んでいきたいと思っています。

《放送大学を1回目卒業して》

教養学部 生活と福祉コース 松本 貢一 さん

私が放送大学に入学した動機は以前から興味があった心理学を体系的に勉強したかったからです。放送大学は社会人にとって自分のペースで学習しやすいシステムに思え、所定の条件を満たせば認定心理士が取得できることは良い学習目標になりました。私は若いころ大学の工学部を卒業しているので3年次編入学ができ62単位が認められました。実は入学したのは心理と教育コースで、心理学を勉強するうちに身体や疾病、社会福祉も勉強する必要があると感じ、両方のコースを卒業しようと考え、コース変更して先に生活と福祉コースを卒業しました。働きながらなので編入学時は4年で卒業するつもりでしたが2年半で1回目の卒業ができました。

入学した時は、どこまでできるのか、卒業まで到達するのか少し不安だったのですが、放送大学エキスパート「心理学基礎」、「臨床心理学基礎」の取得がモチベーション維持に役立ちました。また心理学関係の面接授業では、先生や他の学生とお話ししながら実験・実習するのが大変楽しく、勉強になり、非常によかったです。

1冊の読書をはじめ学ぶ方法は各人多種多様ですが、大学（全科履修生）での学びは2年以上に及びます。学問の分野（私の場合、心理学）を設定することにより、日々その分野について考え、取り組むため、多少なりともその分野の思考が得られたと思っています。卒業して心理と教育コースに継続入学したので、引き続き学習を深めていこうと思います。

教養学部 心理と教育コース 下代 真広 さん

放送大学への入学は、以前勤めていた職場を辞める1ヶ月程前に決めました。元々はリハビリ職として総合病院に勤めていましたが、職場での人間関係が思い通りにならず失敗を繰り返し、仕事を続けていくことに自信を無くしていました。このまま転職をしても同じ失敗を繰り返すのではないかとこの恐れが強く、転職に踏み切れない状態でした。同じ時期に認知症関係の資格取得の為に勉強をしており、資格勉強を通じて学習をすることの面白さに気付きました。そこから、もう一度学び直すことで自信を持つことができるのではないかと考え、出願期限の締め切り直前に出願をしました。以前から心理学分野に興味があり、いつかは認定心理士の取得ができればと考えていたため心理と教育コースを選択しました。退職と同時に入学し、転職活動と並行しながら学習を行いました。心理学を学んでいく中で、認知行動療法から自身の認知特性を当てはめて客観的に評価してみたり、苦手なものに対しては暴露療法の考え方を日常生活に取り込んだり自分自身を見つめ直すことのきっかけにもなりました。

放送大学で過ごした2年間は、過去に自分が成し遂げることができなかったことに対してもう一度取り組むことができる追体験となり、結果として自信を持つことができました。そして念願の認定心理士を取得し、転職をすることが出来ましたが、まだまだ心理学に対する興味が尽きないため、今春からは大学院に再入学し、さらに心理学を追求しようと思います。

《放送大学での4年間を振り返る》

教養学部 心理と教育コース 松岡 奈都美 さん

放送大学へは、勤めている発達支援保育での現場で、支援を必要とする子どもたちへの理解と適切な支援提供を深める目的での入学でした。

当初は、仕事と家庭と学業の両立は不可能だと思い、単位修得などはあまり深く考えず自分の興味があるものだけを取捨選択し、マイペースでと考えておりました。ですが、学びを深めていくと「なぜ？どうして？」とさらに掘り下げていくことに楽しみを覚え、ルーティーン化した結果が4年間での卒業だったと思います。

放送大学は、理解しやすい授業構成でありながらも内容は深く、また学ぶことのコンテンツが豊富で選択出来る学習スタイルの提供が継続して学べた理由です。また、面接授業での先生方の熱い講義やともに学ぶ合う仲間の存在、自習室利用や事務手続きなどセンターへ通う先での職員さんの温かいサポートが学び続ける自分の背中を押し続けてくれたのだと深く感謝しております。

卒業は終わりではなく始まりであります。知識を詰め込むだけという自己満足で終わらせる事なく、学びで得た方法や手段を生かし社会貢献すること、人のお役に立てることを目指します。そして人の学びは一生涯であり終わりはありません。今持っている知識の武器を継続してブラッシュアップし、時代の変化に対応していくことが自分を守り大切な人を守る事であると考え、今後も自己研鑽して参ります。

また放送大学に「ただいま」と帰る日を楽しみに

短大を卒業後、まだ学びたい気持ちがあり、放送大学に編入しました。短大では、図書館司書の資格を取りましたが、文学を学ぶ機会がなかったため、物足りなさを感じました。そんな時、母から放送大学を勧められ、入学を決意しました。

読書が好きな私は「人間と文化コース」を選択。『世界文学への招待』で紹介された本を図書館で借りて読んだりしました。ジョナサン・スウィフトの『ガリヴァー旅行記』やダニエル・アラルコンの『ロスト・シティ・レディオ』など心に残っています。村上春樹の小説も読むようになりました。今まで読んだことのない世界の文学に触れて視野が広がりました。

放送大学では、自分の好きな科目を選んで自分のペースで勉強でき、趣味や習い事などとも両立できました。最初の頃は、学習センターで試験を受けたので、とても緊張しましたが、その後はネットで試験を受けられるようになり、体力的にも精神的にも負担が少なくなりました。オンラインで授業を見られたのも有難かったです。同じく放送大学で学んでいた母と同じ科目を履修した時は、授業の中身について話が弾みました。一緒に学習会に参加したことも良い思い出です。

この春、放送大学の大学院に入学しました。一学期は『モダニズムの文学と文化』と『文化人類学の最前線』を履修します。修士選科生として学びを深めていきたいと思っています。

和歌山学習センター 今年度の新任客員教員よりご挨拶

◇木村 憲喜 和歌山大学大学院教育学研究科・教授（化学、理科教育）

5年ぶりに和歌山学習センターで自主ゼミを担当させていただくことになりました。久しぶりにセンター内を見てみると、勉強スペースが広がり、学習環境が充実しているように感じました。自主ゼミにもたくさんの人に参加していただいて、活発な意見交換ができればと思います。

専門は、化学で、これまでさまざまな金属を使って「錯体」と呼ばれる化合物を合成してきました。和歌山大学では、理科教育にも携わり小・中学校や高等学校で使える教材を研究しています。これから和歌山学習センターで、みなさんと一緒に勉強できることを楽しみにしています。よろしくお祈りします。

2023年度連携公開講座のご案内

◎コロナ禍によりしばらく行っていなかった和歌山県立図書館との連携公開講座を本年度から再開することになりました。テーマは【コンピューターゲームの「これまで・いま・これから」】（仮称）で、日程は10月・11月・12月の土曜日の3回シリーズとして和歌山県立図書館で開催する予定です。

学生の皆様、奮ってご参加ください。（詳細は、「てまり10月号」でお知らせします。）



放送大学 和歌山学習センター

〒641-0051

和歌山県和歌山市西高松1丁目7-20(和歌山大学松下会館内)

Tel. 073-431-0360 Fax. 073-431-0311

E-mail wakayama-sc@ouj.ac.jp

ウェブサイト <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/wakayama/>

（★注意）和歌山大学（和歌山市栄谷）とは全く別の場所にあります。和歌山県立図書館の東隣です。

【開所曜日・時間】

火曜～日曜 10:00～18:00

閉所日：月曜・祝休日、12/28～1/3



和歌山学習センターの利用について

☆新型コロナウイルス感染症の第5類への移行に伴い5月9日（火）より次のようにセンターの利用方法が変わりました。しかし、新型コロナウイルス感染症が終息した訳ではありませんので、これまでの感染予防対策は継続いたします。

◆センターの利用について

開 所 日	火曜日 ～ 日曜日
閉 所 日	月曜日 ・ 祝休日（12月28日～1月3日）
開 所 時 間	10時 ～ 18時（電話対応も同じ）

◇センターの利用は放送大学の学生といたします。（所長の許可を得た者を除く。）

◎入館にあたって

- ・入館の際は「放送大学和歌山学習センター利用申込書」に記入しボックスに入れてください。
- ・マスクはできるだけ着用をお願いします。
- ・近距離や対面での飲食や会話は引き続きお控えいただくとともに黙食にご協力をお願いします。
※非接触体温計（入口に設置）は適宜お使いください。
手指の消毒アルコールについても適宜お使いください。
発熱や倦怠感のある場合などは来所を控えてください。



◆客員教員による学習相談・学習会について

◇参加者は放送大学の学生といたします。日程等は、P12～14、P20に掲載しています。

◆閉所日や利用時間等を変更する場合は和歌山学習センターのウェブサイトと掲示板にてお知らせします。

『田辺教室(Big-U)』の利用について

◆5月9日（火）より田辺教室「和歌山県立情報交流センター（Big-U）内」を再開しています。

◆利用の際は、Big-Uの総合受付に学生証を提示のうえ開錠してもらい利用してください。

◇放送教材（DVD・CD）の視聴および貸し出しができますが、配架している科目は一部になります。利用にあたり希望の科目があるかどうかは、和歌山学習センターに確認してください。また、利用に関することはBig-Uに直接電話等をせず、和歌山学習センターに問い合わせてください。

◇利用は、和歌山学習センター所属の現役学生のみ限定します。

◇パソコンによるインターネット視聴はできません。

◎名 称： Big-U内放送大学和歌山学習センター「田辺教室」

住 所： 田辺市新庄町3353-9 利用時間： 10：00～20：00

休室日： 月曜日、年末年始（12月29日～1月3日）月曜日が祝日の場合はその翌日





窓 口： Big-U総合受付



Web単位認定試験について

(学部・大学院)

2023年度の単位認定試験は前年度に引き続き、Web試験にて実施します。
(一部科目は郵送受験方式)

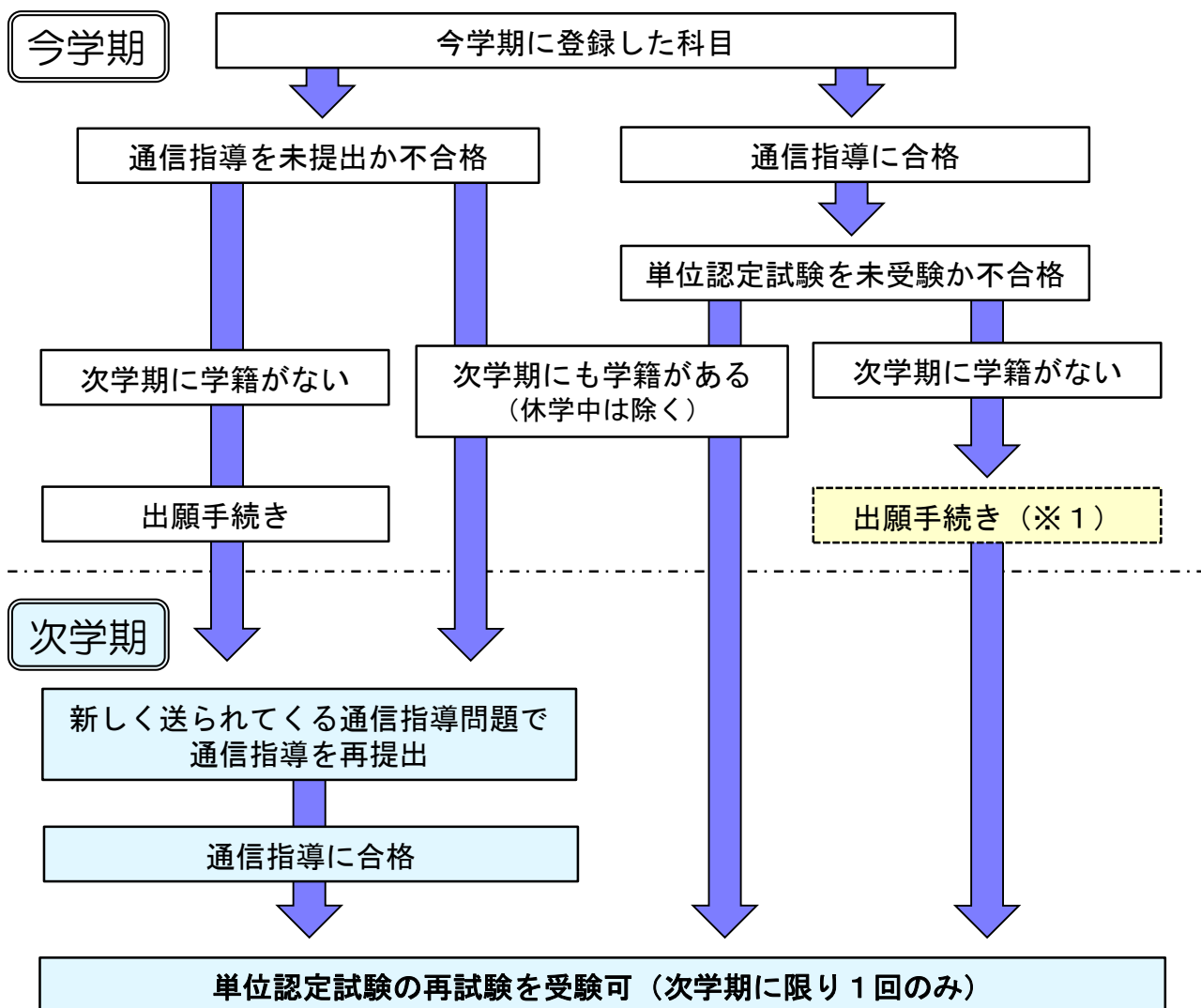
試験期間	Web試験 (試験期間) 2023年7月15日 (土) 9時～7月25日 (火) 17時 郵送試験 (提出期間) 2023年7月15日 (土) ～7月25日 (火) «必着»
実施方法概要 	<ol style="list-style-type: none">①試験期間中は自宅等から24時間いつでも受験可能です。②1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)③出題形式には「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」があり、各科目の出題形式は「授業科目案内」に掲載されています。④制限時間以内に「択一式」は選択肢をクリック、「記述式」は解答記入欄に文字入力することで解答します。
郵送試験を実施する科目について (3科目のみ) 	<ol style="list-style-type: none">①「正多面体と素数('21)」、「日本美術史の近代とその外部('18)」、「量子化学('19)」のみ郵送試験で実施します。②7月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて郵送で解答を提出します。③試験時間の制限はありません。
注意事項 	<ol style="list-style-type: none">①Web単位認定試験体験版を操作されていない方は、端末等の動作保証ができないため、受験に使う予定のパソコン・スマートフォン・タブレット等で必ず体験版を操作し、解答提出が可能か確認してください。 ☆体験版は何度でも解答提出できますが、本番の単位認定試験は一回のみの提出となります。②パスワードを忘れてしまった場合など、システムWAKABAにログインできない方は和歌山学習センター (TEL:073-431-0360) までご連絡ください。
その他	<ol style="list-style-type: none">①和歌山学習センターでは試験期間中の特別な開所時間を設けません。 現行どおり (10時～18時) です。 ☆学習センターでの受験者についてはこの限りではありません。②単位認定試験期間中 (7/15～7/25) は、学生用パソコンの使用はできません。
各種発送時期 	<ol style="list-style-type: none">①通信指導添削結果の返送：2023年6月末～7月上旬 ☆択一式科目 (併用式科目の択一部分) は7月10日 (月) までに、記述式科目 (併用式科目の記述部分) は7月12日 (水) までに届かない場合は、大学本部 (TEL:043-276-5111) に連絡してください。②受験票 (単位認定試験通知)：2023年6月下旬 発送予定 ・「試験会場 (試験室名)」に「自宅受験」と記載されている科目は、受験資格があります。 ☆7月7日 (金) までに届かない場合は、大学本部 (TEL:043-276-5111) に連絡してください。③郵送受験方式の科目のみ 問題用紙・解答用紙・提出用封筒 ：2023年7月上旬 発送予定④成績通知書：2023年8月下旬 発送予定 システムWAKABA「教務情報→履修成績照会」でも確認することができます。

再試験について（登録科目の単位を修得する必要がある方へ）

「学生生活の葉」〔学部〕P71〔大学院〕P73

今学期に新規に登録した放送授業科目の単位を修得できなかった場合、次学期に学籍がある場合（休学中を除く）に限り、再試験を受けることができます。

再試験科目については、あらためて科目登録をする必要がなく、授業料もかかりません。



※1 <単位認定試験を受験した方が再試験のために出願する場合>

☆新規登録科目なしの場合…試験結果が合格の場合、出願は無効となります。
不合格の場合、入学料のみ必要となります。

☆新規登録科目ありの場合…試験結果が合格の場合、新規登録科目のみが登録されます。

★再試験制度は1回のみです。

再試験で不合格の場合は、科目登録（または、再出願）が必要です。

（授業料が必要です。また通信指導も再度提出しなければなりません。）

科目登録申請期間・出願期間中にそれぞれ手続きを行ってください。

★単位認定試験の結果を見てからの科目登録・出願も可能です。ただし、試験結果の送付が申請期限間際となる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

2023年度第2学期 科目登録・継続入学等のご案内

科目登録：「学生生活の葉」[学部] P55～58 [大学院] P56～62
継続入学：「学生生活の葉」[学部] P91～93 [大学院] P90

次学期に学籍がある方

「科目登録申請」手続きを行ってください。

科目登録申請には、次の方法があります。いずれかの方法で手続きを行ってください。

① 「システムWAKABA」による方法：

インターネット上での申請方法です。申請期間中に科目登録を行ってください。

② 「科目登録申請票」による方法：

大学本部から送付される「科目登録申請要項」に添付されています。
必要事項を記入し、申請期間中に大学本部に郵送してください。

★①と②の重複申請はできません。

2023年度第2学期「科目登録申請要項」：7月中旬発送予定

★「放送授業」・「オンライン授業」・「面接授業」の科目登録ができます。

* 8月7日（月）までに届かない場合は 大学本部（総合受付）に連絡してください。

【科目登録申請期間】 *申請方法により提出期限が異なりますので、ご注意ください。

- ・「システムWAKABA」による申請期間【インターネット】
8月15日（火）9時～8月31日（木）24時
- ・「科目登録申請票」による申請期間【郵送】
8月15日（火）～8月30日（水）**本部必着**

次学期に学籍がなく、継続して学習を続けたい方

「出願（継続入学）」手続きを行ってください。

出願（継続入学）には次の方法があります。いずれかの方法で手続きを行ってください。

① インターネットによる方法：申請期間中に手続きを行ってください。

- ◆ 放送大学ウェブサイトのインターネット出願ページから出願できます。
- ◆ システムWAKABA上で継続入学申請ができます。
(大学本部から案内が送付されます。)

② 郵送による方法：必要事項を記入し、期間中に大学本部に郵送してください。

- ◆ 「出願票セット綴込の出願票」で出願できます。
(大学本部から送付されます。)
- ◆ 「学生募集要項」に添付されている「出願票」で出願できます。
(学習センター等で配布しています。)

★①と②の重複申請はできません。

Ⓐ 2023年度第2学期「出願票セット綴込の出願票」：7月中旬発送予定

Ⓑ 2023年度第2学期「学生募集要項」：6月10日（土）配布開始

★継続入学される方で、面接授業の登録申請を行いたい方は、必ず上記の「科目登録申請期間」内に、システムWAKABAを通して出願する必要があります。

【出願期間】

- ・インターネットによる申請期間
6月10日（土）～9月12日（火）**17時まで**
- ・「出願票」等による申請期間【郵送】（*上記ⒶⒷいずれかのものをご利用ください。）
6月10日（土）～9月12日（火）**本部必着**

出願票に写真を未添付の場合、学生証の写真は以前提出された写真となります。
写真を変更したい場合は、出願手続きの際に行ってください。後日『写真票』を郵送されたり、後日システムWAKABAを利用してご自身で差し替えた写真は、次回の学生証更新時に利用されます。
詳しくは和歌山学習センターまでお問い合わせください。



2023年度第2学期 面接授業のご案内

科目登録申請後の追加・変更はできませんので、慎重に科目選択を行ってください。

また、定員を上回る申請があった科目については、抽選による選考を行います。

申請科目すべてが受講できるとは限りませんので、ご注意ください。

和歌山学習センターで開設する面接授業科目は下記のとおりです。

授業内容等は、「面接授業時間割表[近畿ブロック版]」（大学本部送付）か放送大学ウェブサイトをご覧ください。



科目区分	科目名・担当講師	開設日	定員
基盤科目	「改訂・問題解決の進め方」 秋光 淳生 (放送大学・准教授)	11月 4日(土) 1～4時限 11月 5日(日) 1～4時限 ■不測の事態発生時はZoom(Live)で開講	20
導入科目 情報	「地域データの活用」 満田 成紀 (和歌山大学戦略情報室・教授/ 放送大学和歌山学習センター・客員教授)	11月25日(土) 1～4時限 11月26日(日) 1～4時限	15
専門科目 生活と福祉	「こころの健康と精神医学」 岩谷 潤 (元和歌山大学保健センター・准教授)	11月18日(土) 1～4時限 11月19日(日) 1～4時限	20
	「身体運動と高血圧の予防」 宮井 信行 (和歌山県立医科大学保健看護学部・教授)	12月 2日(土) 1～4時限 12月 3日(日) 1～4時限	16
専門科目 心理と教育	「心理学実験1」 村上 凡子 (和歌山信愛大学教育学部・教授)	11月25日(土) 1～4時限 11月26日(日) 1～4時限	20
	「心理学実験2」 岩原 昭彦 (京都女子大学発達教育学部・教授)	2024年1月6日(土) 1～4時限 2024年1月7日(日) 1～4時限	15
専門科目 社会と産業	「オペレーションズ・マネジメント」 松井 美樹 (放送大学・教授)	10月21日(土) 1～4時限 10月22日(日) 1～4時限 ■不測の事態発生時はZoom(Live)で開講	16
	「持続可能な鉄道を考える」 西川 一弘 (和歌山大学紀伊半島価値共創基幹・教授)	12月 2日(土) 1～4時限 12月 3日(日) 1～4時限 ★2日目の一部は伊太祈曽駅と貴志駅で行います。	20
専門科目 人間と文化	「日本庭園の歴史」 小野 健吉 (大阪観光大学観光学部・教授)	11月 4日(土) 1～4時限 11月 5日(日) 1～4時限 ★2日目の一部は養翠園で行います。	16
	「海の紀州」 櫻井 敬人 (太地町歴史資料室・学芸員)	11月11日(土) 1～4時限 11月12日(日) 1～4時限 ★1日目の一部は和歌山県立近代美術館で行います。	20

科目区分	科目名・担当講師	開設日	定員
専門科目	「世界遺産と観光」 チャクラバルティー アビック (和歌山大学観光学部・准教授)	11月18日(土) 1～4時限 11月19日(日) 1～4時限	16
人間と文化	「博物館で学ぶきのくにの歴史」 竹中 康彦 (和歌山県立博物館・学芸員)	12月6日(水) 1～4時限 12月7日(木) 1～4時限 ★2日間とも和歌山県立博物館で行います。	20
専門科目	「データサイエンス」 伊原 彰紀 (和歌山大学システム工学部・准教授)	10月28日(土) 1～4時限 10月29日(日) 1～4時限	15
情報	「仮想世界の行動設計」 山上 俊彦 (株式会社ACCESS技術戦略室・ シニアソフトウェアエンジニア)	12月9日(土) 1～4時限 12月10日(日) 1～4時限	20
専門科目	「海水増養殖－海を耕す」 升間 主計 (近畿大学水産研究所・所長)	11月25日(土) 11月26日(日) 各自で宿泊手配 ★2日間とも白浜町近畿大学水産研究所で行います。	25
自然と環境	「シミュレータで太陽系を学ぼう」 曾我 真人 (和歌山大学システム工学部・准教授)	12月16日(土) 1～4時限 12月17日(日) 1～4時限	15
総合科目	「南紀熊野ジオパークの風土と文化」 此松 昌彦 外1名 (和歌山大学教育学部・教授 外)	10月21日(土) 1～4時限 10月22日(日) 1～4時限	20
	「歩く百科事典－南方熊楠」 谷脇 幹雄 外5名 (公益財団法人南方熊楠記念館・顧問 外)	11月11日(土) 11月12日(日) 各自で宿泊手配 ★2日間とも白浜町南方熊楠記念館で行います。	30

- 「教科書」指定の有無を前もってシラバス(授業概要)で確認し、各自で書店や出版社から直接購入するなどして、授業当日に必ず持参してください。取り寄せに時間がかかる場合もありますので、ご注意ください。
なお、和歌山学習センターでは「教科書」の販売・貸出は行っていません。

和歌山の時間割	1時限	10:00～11:30
	2時限	11:40～13:10
	昼休憩	
	3時限	14:00～15:30
	4時限	15:40～17:10

面接授業とは?	<ul style="list-style-type: none"> ●全科履修生が卒業するためには、面接授業かオンライン授業の単位を20単位以上修得する必要があります。卒業を目指している方以外は、必修ではありません。 ●1科目につき1単位です。 ●2日間で計8回の授業(90分×7回、45分×1回)を行い、原則としてレポートか試験等が課されます。
---------	---

不測の事態発生時には、以下の措置をとる可能性があります。
科目登録の際は、最新の情報を大学本部ウェブサイト・和歌山学習センターウェブサイト(お知らせ欄)・システムWAKABAでご確認ください。

- 対面授業の中止(閉講)またはZoom(Live)によるWeb授業への変更
Web授業へ変更する可能性のある科目は、上表の開設日欄に記載しています(2科目)。
ご自宅に(スマホではなく)パソコンやネット環境を備え、Zoomの操作が必要です。

和歌山学習センター客員教員による
2023年度第1学期 **学習相談のご案内**

客員教員名	専門分野	実施曜日・時間
兵頭 俊樹 元和歌山大学クロスカル教育機構・准教授	ドイツ語学・文学 ヨーロッパ言語文化	第2・4 火曜日 14:30~16:30
竹林 浩志 和歌山大学観光学部・教授	経営学 組織論	第1・3 水曜日 10:00~12:00
木村 憲喜 和歌山大学大学院教育学研究科・教授	化学 理科教育	水曜日 14:00~16:00
森下 順子 和歌山信愛大学教育学部・教授	発達心理学 保育・幼児教育 子育て支援	第2・4 木曜日 13:30~15:30
原田 利宣 和歌山大学システム工学部・教授	デザイン工学 感性工学 ※1	第1・3 木曜日 10:00~12:00
満田 成紀 和歌山大学戦略情報室・教授	ソフトウェア工学 ※1	【7月のみ】第2・4土曜日 【8月・9月】毎週土曜日 いずれも10:00~12:00
辻 あさみ 和歌山県立医科大学保健看護学部・教授	成人看護学	第1・3 土曜日 10:00~12:00
宗森 純 放送大学和歌山学習センター・所長	情報工学	随時（出勤日）

※1 ソフトウェア（Word,Excel,PowerPoint）、インターネット、Windowsなどについての質問も可

学習相談とは？

所長の宗森および客員教員が学習上の種々の相談に応じています。
相談を希望する学生は、事務室に備え付けている『学習相談票』に
相談内容を記入し、相談希望日1週間前までに事務室に申し込んで
ください。

後日、相談日を通知します。（※『学習相談票』はFAX送信可）

予約制です!



客員教員による『学習会』のご案内

「学習会」とは？

和歌山学習センターの客員教員が、毎回それぞれのテーマに沿って講義をします。無料で各先生の専門分野に関する面白い講義が受けられる機会です。参加希望の方は、学習会当日、直接和歌山学習センターまでお越しください。是非、お気軽にご参加ください！
※事前申込みは、特に記載がない限り不要です。※単位認定はありません。

講師	日時	講義内容
<p>兵頭 俊樹</p> <p>元和歌山大学 クロスカル教育機構 ・准教授</p> <p>専門:ドイツ語学・文学 ヨーロッパ言語 文化</p>	<p>月2回 火曜日 (7月のみ1回)</p> <p>右記の日程で 実施予定</p> <p>15時00分～ 16時30分</p>	<p>『歴史で学ぶ英語』</p> <p>邦訳が出ているエルンスト・ゴンブリッチ『若い読者のための世界史』(中公文庫)とユヴァル・ノア・ハラリ『サピエンス全史』(河出書房新社)の英訳を、構文の理解に重点を置きながら少しずつ読み進んでいきます。</p> <p>読んでいる箇所は年初の時点で、前者は15章「西方の支配者 Rulers of the Western World」でローマ共和制の内乱の1世紀と呼ばれる時期、後者は11章「グローバル化を進める帝国のビジョン Imperial Visions」で様々な歴史上の帝国に共通する特徴を述べている箇所。</p> <p>それぞれ毎回10数行程度読み進めます。</p> <p>【実施日程】 7月11日、8月8日、22日、9月12日、26日</p>
<p>木村 憲喜</p> <p>和歌山大学大学院 教育学研究科・教授</p> <p>専門:化学・理科教育</p>	<p>7月26日(水)</p> <p>14時00分～ 16時00分</p>	<p>『和歌山大学における最近の教員養成システムについて』</p> <p>国立大学の教員養成は文部科学省によって養成人数やカリキュラムが管理されています。現在、和歌山大学教育学部の定員は165名ですが、20年間で定員数も少しずつ減少しています。また、養成方法も以前に比べるとずいぶん変化しています。</p> <p>本学習会では、和歌山県で活躍できる教員をどのように育成しているかを紹介したいと思います。</p>
	<p>原則として 月1回 水曜日</p> <p>14時00分～ 16時00分</p> <p>※実施日は月毎に掲示をご覧になるか、事務室へお問合せください。</p>	<p>『学生自主ゼミナール』</p> <p>月に1回のペースで行っています。</p> <p>報告者は、“和歌山学習センター所属の学生”。</p> <p>各回毎に、担当学生がテーマを決めて発表し、互いに学習を深めます。</p> <p>事前の申し込みは不要です。是非お気軽にご参加ください！</p>

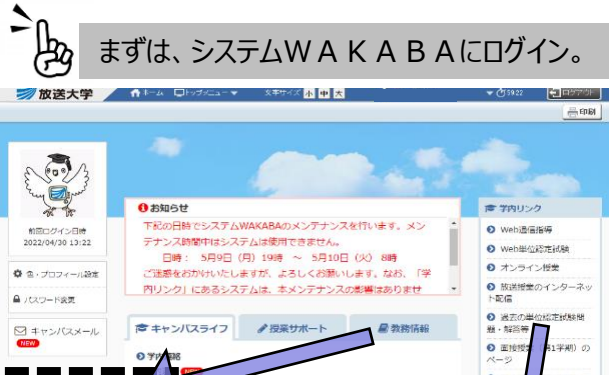
講師	日時	講義内容
<p>森下 順子</p> <p>和歌山信愛大学 教育学部・教授</p> <p>専門:発達心理学 保育・幼児教育 子育て支援</p>	<p>8月24日(木)</p> <p>13時30分～ 15時30分</p>	<p>『地域と子育て支援』</p> <p>我が国は、1989年の合計特殊出生率『1.57ショック』を機に、子育て支援の充実と社会で子どもを育てる環境づくりを目指しています。しかし、33年たった現在も子育ての課題が山積し解決に至っていません。子育て支援施策が充実してきているのに、どうして子育てが困難になるのでしょうか。子育ての現状と課題について解説し、これからの地域と子育て支援について、一緒に考えていきたいと思います。</p>
<p>満田 成紀</p> <p>和歌山大学 戦略情報室・教授</p> <p>専門:ソフトウェア工学</p>	<p>月1回</p> <p>右記の日程で 実施予定</p> <p>10時00分～ 12時00分</p>	<p>『パソコン・スマホDojo』</p> <p>パソコンやスマートフォンを使って、「もっとこんな使い方がしてみたい」と思うことはありませんか？</p> <p>そんなあなたに、ちょっとしたアドバイスと一緒にチャレンジする機会を提供するのが「Dojo(道場)」です。</p> <p>「写真の編集がしたい」「ビデオ通話ってどうやるの？」など、みなさん自身のやってみたいことや悩みについて、教員がメンター(お助け人)となって取り組みます。すぐにはできないかもしれませんが、ゆっくり少しずつ学んでいきましょう。</p> <p>※自分のノートPCやスマートフォンを持ってきてください。 学習センターのノートPCを利用することもできます。</p> <p>【実施日程】 7月8日(土)、8月19日(土)、9月16日(土)</p>
<p>辻 あさみ</p> <p>和歌山県立医科大学 保健看護学部・教授</p> <p>専門:成人看護学</p>	<p>8月5日(土)</p> <p>10時30分～ 12時00分</p>	<p>『“日常生活”について考える ～ヘンダーソンの看護理論を参考にして～』</p> <p>近年、高齢化に伴い心疾患や高血圧、糖尿病、がんなどに代表される慢性疾患を有する患者の数は増加傾向にあります。そのため、できる限り病いに罹らないよう予防することが大切です。看護学の中に、看護理論の基礎をなすものとして“ヘンダーソンの看護の基本となるもの14の基本的欲求”があります。この理論は、病に罹った患者さんが少しでも早く回復してもらうために、看護師が行う日常生活行動の援助について述べられています。</p> <p>そこで、このヘンダーソンの理論を基に、看護師が行っている健康を回復するための日常生活行動の援助を紹介し、皆さんと一緒に日常生活について考えてみたいと思います。</p>

- 参加者は放送大学の学生といたします。
- 不測の事態発生時には、実施を延期したり取りやめたりする場合があります。その際には、和歌山学習センターウェブサイトに掲載するとともに、和歌山学習センター内に掲示いたします。

システムWAKABAでできること ～特に学期後半に便利な機能をご紹介します～

まもなく、単位認定試験が始まります。その後は、成績発表に次学期の科目登録など、一大イベントが目白押し。システムWAKABAを最大限に活用して、試験を乗り切りスムーズに次学期を迎えましょう。

- ✓ 単位認定試験の過去の問題・解答を見たい！ ⇒①
- ✓ 成績評価の結果は・・・ ⇒②
- ✓ 次学期の科目登録・継続入学申請をシステムWAKABAでしたい！ ⇒③



①過去の試験問題・解答は学内リンクに!

🎓 キャンパスライフ

- ▶ 学生カルテ
 - > 学生カルテ
- ▶ 変更・異動手続
 - > 変更・異動手続
- ▶ 履修成績照会
 - > 履修成績照会 ←②
- ▶ 単位認定試験時間割
 - > 単位認定試験時間割照会 (学生用)
- ▶ 出願・科目登録申請
 - > 科目登録申請
 - > 継続入学申請 ←③
 - > 出願申請進行状況確認
- ▶ シラバス検索
 - > シラバス参照
- ▶ 自己判定 (シミュレート)
 - > 所属コース (専攻) 変更・カリキュラム移行シミュレーション
- ▶ 資格取得判定
 - > 科目群履修認証制度自己判定
- ▶ 資格取得申請書
 - > 科目群履修認証状申請書出力

📖 授業サポート

📄 教務情報

②と③は、教務情報に!
他にも科目選びの参考になる機能や手続きに便利な機能がたくさんあります。いろいろ開いてみてください。

🎓 学内リンク

- ▶ Web通信指導
- ▶ Web単位認定試験
- ▶ オンライン授業
- ▶ 放送授業のインターネット配信
- ▶ 過去の単位認定試験問題・解答等
- ▶ 面接授業 (第1学期) のページ
- ▶ 面接授業 (第2学期) のページ
- ▶ 新規開設科目印刷教材 (試し読み)
- ▶ 放送大学自己学習サイト
- ▶ 看護師国家試験学習支援ツール
- ▶ 修士論文閲覧
- ▶ 放送大学附属図書館
- ▶ 学習センター一覧
- ▶ ライブWeb授業
- ▶ 放送大学トップページ

「学生証」について

「学生生活の葉」[学部] P18~19
[大学院] P24~28

学生証の交付を所属学習センターで行っています。(大学本部からは送付されません。)

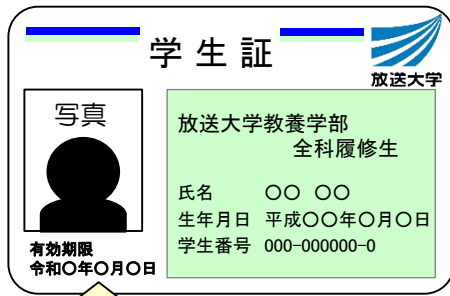
対象者

- ・今学期入学者のうち学生証の受け取りがまだの方
- ・有効期限切れの学生証をお持ちで新しい学生証の受け取りがまだの方

学生証の交付に必要なもの

入学許可書(新規入学者)または期限切れの学生証(在籍者)

【注意】出願・科目登録時に写真票を提出していない方は、①システムWAKABAで直接登録、または②顔写真を大学本部入学・履修係に郵送してください。②の場合、学生証の発行に約3週間かかります。



期限が切れていないか
確認してください!

- ・学習センター等を利用する場合は、必ず携行してください。
- ・学生証には有効期限があります。

【学部・大学院とも】

全科履修生：2年間 / 選科履修生：1年間 / 科目履修生：半年間

※更新の際は写真の提出は不要です。

- ・学生証の紛失や氏名変更した場合の再発行も、学習センターで行います。手数料500円を持参し、学習センター事務室で手続きを行ってください。

各種変更手続きについて

「学生生活の葉」[学部] P20~21、P82~90
[大学院] P29~30、P80~89

※様式(紙)は「学生生活の葉」の巻末、「システムWAKABA(キャパスライフ⇒各種届出・申請様式)」にあります。

変更内容	提出期限		提出先(様式で提出する場合)			備考
	様式(紙) ※本部必着	システム WAKABA	教養学部生	修士選科生 修士科目生	修士全科生 博士全科生	
住所等の変更	在学中随時 (変更後速やかに)		和歌山学習 センター	本部学生課 入学・履修係	本部教務課 大学院研究指導係	
氏名等の変更	在学中随時 (変更後速やかに)		本部学生課	入学・履修係	本部教務課 大学院研究指導係	あわせて“学生証の再発行手続き”も行ってください。(手数料:500円)
(学部) 所属コース変更願 カリキュラム移行届	2024年度第1学期から変更 10月20日~12月7日		本部学生課 入学・履修係	—	—	以下はできません。 ・学期を遡っての変更 ・学期途中からの変更 ・卒業研究履修中の変更
(修士全科生) 所属プログラム 変更願	第1年次の 12月末まで	—	—	—	本部教務課 大学院研究指導係	※「所属プログラム変更願」を教務課へ請求してください。 詳細は「学生生活の葉(大学院)」P.82参照
所属学習センター 変更願	2023年度第2学期から変更 4月20日~8月10日		本部学生課	入学・履修係	本部教務課 大学院研究指導係	以下はできません。 ・学期を遡っての変更 ・学期途中からの変更
休学・復学届	2023年度第2学期から変更 4月20日~ 9月25日		本部学生課	入学・履修係	本部教務課 大学院研究指導係	休学期間(通算) ・全科履修生:4年間 ・選科履修生:1年間 ・修士全科生:2年間 ・博士全科生:3年間

諸証明書の発行手続き

各種証明書が必要な場合「諸証明書交付願」を提出してください（手数料は1通につき200円）。なお、証明書の発行に2週間程度かかるものや、事務処理上発行できない期間がありますので、必要な方は早めに提出してください。

提出先：和歌山学習センター

☑ 郵便での申請方法 ☑

来所されない場合は、下記4点を和歌山学習センターまで郵送してください。

- ① 手数料分の郵便定額小為替証書（1通につき200円）
- ② 諸証明書交付願（様式：『学生生活の菜』巻末、
 もしくは「システムWAKABA（キャンパスライク⇒各種届出・申請様式）」からダウンロード）
- ③ 返信用封筒《宛名明記》（証明書1~2通：長形3号、3通以上：角型2号）
- ④ 返信用切手（証明書1通：84円、2通：94円、3通以上：140円）

学割証の発行手続き

全科履修生・修士全科生・博士全科生が、授業の視聴や面接授業、単位認定試験、卒業研究、研究指導等のために通学する場合等に発行します。

和歌山学習センターでは、JRと和歌山電鐵について適用でき、

『一般普通回数乗車券（JR・和歌山電鐵）』および

『学生割引普通乗車券（片道区間100km以上・JRのみ）』（2割引）を購入できます。

学割証が必要な方は、事務室備え付けの「学割証発行願」を提出してください。

提出先：和歌山学習センター

☑ 郵送での申請方法 ☑ ※使用日の10日前までに必着！

来所されない場合は、下記2点を和歌山学習センターまで郵送してください。

- ① 学割証発行願（システムWAKABA（キャンパスライク⇒各種届出・申請様式）からダウンロード）
- ② 返信用封筒（長形3号に84円切手貼付・宛名明記）

※ 卒業研究、研究指導およびゼミ出席の場合は、指導教員から指示のあったことを示すもの（用務内容、場所、期間、指導教員が指示（許可）したことが確認できるもの）も同封（持参）ください。

科目群履修認証制度 放送大学 エキスパート をご存知ですか？

「学生生活の菜」[学部] P102

この制度は、教養学部の全科履修生・選科履修生(*)・科目履修生(*)を対象とした放送大学独自の認証制度です。（* 本学全科履修生への入学資格（高校卒業等）を満たしている必要があります。）

放送大学が指定する特定の授業科目群を履修することで、ある分野に目的・関心を持ち、そのための学習を体系的に行ったことを証明します。履歴書への記載や、職場やボランティア活動時に活用いただくなど、それぞれの目的に合わせ、広く学習や生活の場でお役立てください。



『放送大学 エキスパート』で認証状を取得するまで

詳細は放送大学本部より送付されている冊子『科目群履修認証制度（放送大学エキスパート）について』（今年度版）もしくは学習センター事務室で配布しているパンフレット等をご覧ください。
 ※1 認証状取得のために修得した単位は、卒業要件に必要な単位としてカウントされます。

① 入学

全科履修生、選科履修生または科目履修生として入学

② 単位修得

目標とするプランを決め、必修科目、選択必修科目の条件を満たしながら所定の単位を修得！

③ 認証状申請

必要な単位をすべて修得したら、認証状を申請しましょう！

2023年度 夏季集中型科目 《学校図書館司書教諭講習》スケジュール

「学生生活の菜」[学部] P95～96 ・ 「図書館司書教諭講習実施要項」

学校図書館司書教諭講習を申し込まれた方は、下記のスケジュールを参考に学習をスタートしてください。
ただし、あくまで予定ですので、必ず本部から送付される各種案内で最終日程をご確認ください。

入学許可書・印刷教材・通信指導問題等の送付：7月上旬～

★7月中旬までに届かない場合は、大学本部（総合受付）まで連絡してください。

学生証の交付：7月上旬～ 所属学習センターにて

★入学者のみ（すでに放送大学に在籍している方への交付はありません。）

放送授業期間：7月20日（木）～8月3日（木）（再放送：7月21日（金）～8月4日（金））
※インターネットでも視聴可能です。※一部の科目はインターネット配信限定での視聴となります。

通信指導提出期間：8月2日（水）～8月16日（水）本部必着

単位認定試験課題の送付：8月上旬～

★8月14日（月）までに届かない場合は、大学本部まで連絡してください。

通信指導添削結果の送付：9月下旬

★9月29日（金）までに届かない場合は、大学本部まで連絡してください。

単位認定試験課題提出期間：9月29日（金）～10月6日（金）本部必着

成績通知の送付：12月上旬

★12月12日（火）までに届かない場合は、大学本部まで連絡してください。

修了証書の送付：3月下旬

★3月29日（金）までに届かない場合は、大学本部まで連絡してください。

2023年度第1学期修士全科生スケジュール(7月～9月)

「学生生活の菜」[大学院] P10

修士全科生 【臨床心理学プログラム以外】	研究レポートⅠ提出期限（1年次）	8月18日（金）
	研究レポートⅢ提出期限（2年次）	8月18日（金）
修士全科生 【臨床心理学プログラム】	臨床心理実習（2年次）	～11月30日（木）
	臨床心理査定演習Ⅱ（1年次）	8月1日（火）～4日（金）
	臨床心理基礎実習Ⅱ（1年次）	8月5日（土）～6日（日）
	臨床心理実習・集中面接授業（2年次）	8月22日（火）～24日（木）

2024年度『卒業研究履修の手引』配布中！

2024年度の『卒業研究履修の手引』を学習センターにて配布しています。

ご希望の方は事務室までお越しください。

- お電話くだされば郵送もいたします。
- 来年度に履修を考えている方は、お早めに入手のうえ、申請準備をしてください。
- 指導教員の希望について、所属学習センター所長との面談が必要な場合があります。
なるべく7月中旬までに面談を済ませてください。

卒業研究 履修申請期間：

2023年8月10日（木）9時～8月17日（木）17時

申請は期間中インターネットで行えます。※郵送の場合同日必着

《注意事項》

- ◆ 履修申請の条件：
2023年4月時点において、
全科履修生として2年以上在学し、62単位以上を修得している者
(休学・停学期間を除く)
※編入学の方・2学期入学の方の条件についてはお問い合わせください。
- ◆ 審査のうえ履修許可を受け、2024年度第1学期から卒業研究の履修が始まります。
 - ◎ 2023年度第2学期末または2024年度第1学期末で在学年限の切れる方は、途切れぬよう継続入学する必要があります。
 - ◎ 履修開始前（2023年度第2学期末まで）に卒業要件を満たしてしまうと、その時点で卒業となり、卒業研究の履修資格を失います。科目選択は慎重に行ってください。
- ◆ 履修期間は1年間です。
※履修中は、2024年度第1学期末で卒業要件を満たした場合でも、卒業とはなりません。
- ◆ 卒業研究の単位は、自コースの専門科目6単位（放送授業3単位・面接授業3単位）として認定されます。
- ◆ 卒業研究は必修ではありません。



警報発表時等の臨時閉所について(和歌山学習センターの取り扱い)

「和歌山市」に「暴風警報」か「大雨特別警報」が発表された場合、および地震・停電等の発生によりセンター業務を正常に行えない場合には「臨時閉所」いたします。

※「大雨警報」の場合は開所いたしますので、ご注意ください。

※面接授業・単位認定試験は、取扱いが異なります。

臨時の情報は、その都度和歌山学習センターの発表をご確認ください。

◆和歌山学習センターウェブサイト（トップページ「お知らせ」欄）

◆システムWAKABA（⇒キャンパスライフ⇒学内連絡⇒「学習センターから」タブ）

通常期間に警報が解除された場合

警報解除の時刻	閉所の措置	備考
12時まで	解除より2時間後に開所します。	図書・再視聴室も同様です。
12時以降	終日閉所します。	

7月～9月の和歌山学習センタースケジュール



スケジュール等は予定で作成していますので、直前に送付される案内、冊子等で必ず日時を確認してください。



7月

1	土	面接授業 「子ども成育医療学」 「エンタテインメント情報学」
2	日	
3	月	閉所日
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	修士全科・博士全科出願資格事前 審査申請受付締切
8	土	学習会：満田先生
9	日	
10	月	閉所日
11	火	学習会：兵頭先生
12	水	面接授業
13	木	「和歌山（関西）の歴史的建築」
14	金	
15	土	単位認定試験
16	日	
17	月	閉所日（海の日）
18	火	
19	水	
20	木	夏季集中型科目（司書教諭）放送 開始
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	閉所日
25	火	
26	水	学習会：木村先生
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	オープンキャンパス（一般）
31	月	閉所日

8月

1	火	
2	水	
3	木	
4	金	夏季集中型科目（司書教諭）放送 終了
5	土	オープンキャンパス（一般） 学習会：辻先生
6	日	オープンキャンパス（看護師）
7	月	閉所日
8	火	学習会：兵頭先生
9	水	
10	木	
11	金	閉所日（山の日）
12	土	
13	日	
14	月	閉所日
15	火	2024年度大学院（修士全科・博士 全科）出願受付開始 第2学期科目登録申請受付開始 （学部・修士全科・修士選科・ 博士全科）
16	水	夏季集中型科目（司書教諭） 通信指導提出期限
17	木	
18	金	
19	土	学習会：満田先生
20	日	
21	月	閉所日
22	火	学習会：兵頭先生
23	水	
24	木	学習会：森下先生
25	金	2024年度大学院（修士全科・博士 全科）出願受付締切
26	土	
27	日	
28	月	閉所日
29	火	
30	水	第2学期科目登録郵送申請受付締切 （必着）（学部・修士全科・修士 選科・博士全科）
31	木	第2学期科目登録Web申請受付締切 （24：00）（学部・修士全科・ 修士選科・博士全科） 2023年度第2学期第1回出願受付締切 （郵送必着/Web24：00） （学部・修士選科・修士科目）

9月

1	金	2023年度第2学期第2回出願受付開始 （学部・修士選科・修士科目） —9月12日まで—
2	土	
3	日	
4	月	閉所日
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	閉所日
12	火	2023年度第2学期第2回出願受付締切 （郵送必着/Web17：00） （学部・修士選科・修士科目） 学習会：兵頭先生
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	学習会：満田先生
17	日	
18	月	閉所日（敬老の日）
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	閉所日（秋分の日）
24	日	
25	月	閉所日
26	火	学習会：兵頭先生
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	2024年度修士全科・博士全科入試 第1次選考（筆記）